

「地震防災対策に関する特別世論調査」の概要

平成 19 年 11 月
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象 全国 20 歳以上の者 3,000 人 有効回収数 1,757 人 (回収率 58.6%) 調査期間 平成 19 年 10 月 4 日 ~ 10 月 14 日 調査方法 調査員による個別面接聴取
調査目的	地震防災対策に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 耐震補強工事の実施について 2 耐震補強工事の実施予定がない理由 3 大地震に備えてとっている対策 4 家具や冷蔵庫などを固定しない理由 5 ハザードマップの活用状況・意向 6 緊急地震速報を想定して準備をしようと考えていること 7 緊急地震速報を受け取ることができればよいと思う手段
調査実績	地震防災対策に関する特別世論調査 (平成 17 年 8 月) 防災に関する世論調査 (平成 14 年 9 月,平成 9 年 9 月,平成 7 年 9 月,平成 3 年 7 月, 平成元年 7 月,昭和 62 年 8 月,昭和 59 年 9 月) 防災と情報に関する世論調査 (平成 11 年 6 月)

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1 - 6 - 1
電話 03(3581)0070
FAX 03(3580)1186

「地震防災対策に関する特別世論調査」の要旨

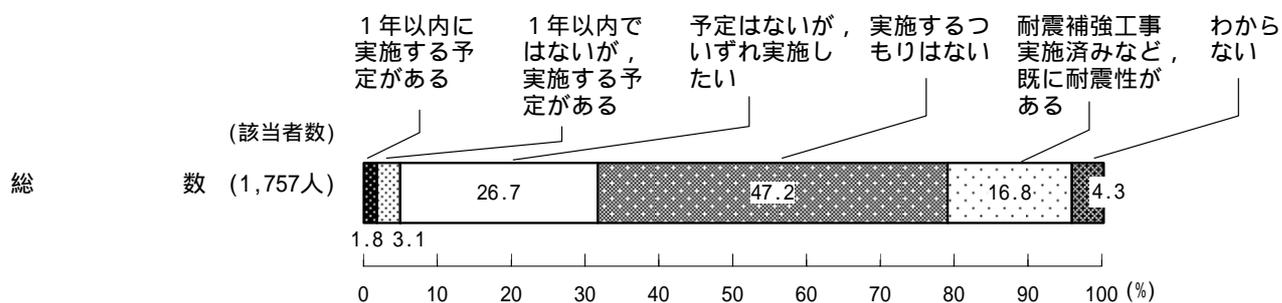
平成 19 年 11 月
内閣府政府広報室

調査時期：平成 19 年 10 月 4 日から平成 19 年 10 月 14 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：1,757 人 (58.6%)

1 耐震補強工事の実施について

平成 19 年 10 月

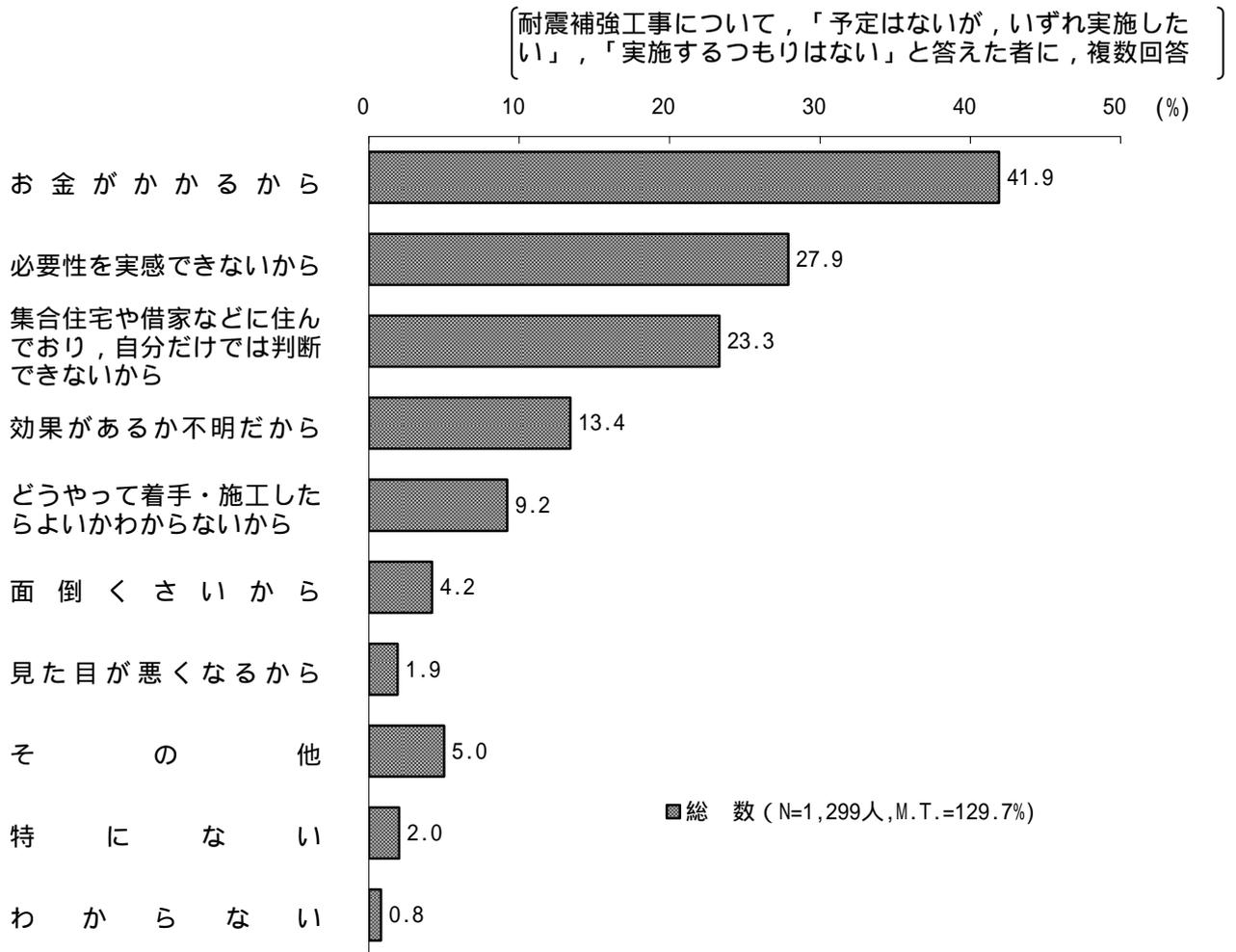
- ・ 1 年以内に実施する予定がある 1.8%
- ・ 1 年以内ではないが、実施する予定がある 3.1%
- ・ 予定はないが、いずれ実施したい 26.7%
- ・ 実施するつもりはない 47.2%
- ・ 耐震補強工事実施済みなど、既に耐震性がある 16.8%
- ・ わからない 4.3%



2 耐震補強工事の実施予定がない理由（複数回答）

平成 19 年 10 月

- ・お金がかかるから 41.9%
- ・必要性を実感できないから 27.9%
- ・集合住宅や借家などに住んでおり，自分だけでは判断できないから 23.3%
- ・効果があるか不明だから 13.4%



3 大地震に備えてとっている対策（複数回答）

	平成 17 年 8 月	平成 19 年 10 月
・携帯ラジオ，懐中電灯，医薬品などを準備している	49.2%	58.9%
・食料や飲料水を準備している	25.6%	36.0%
・近くの学校や公園など避難する場所を決めている	28.7%	33.5%
・いつも風呂の水をためおきしている	21.5%	27.6%

（複数回答）

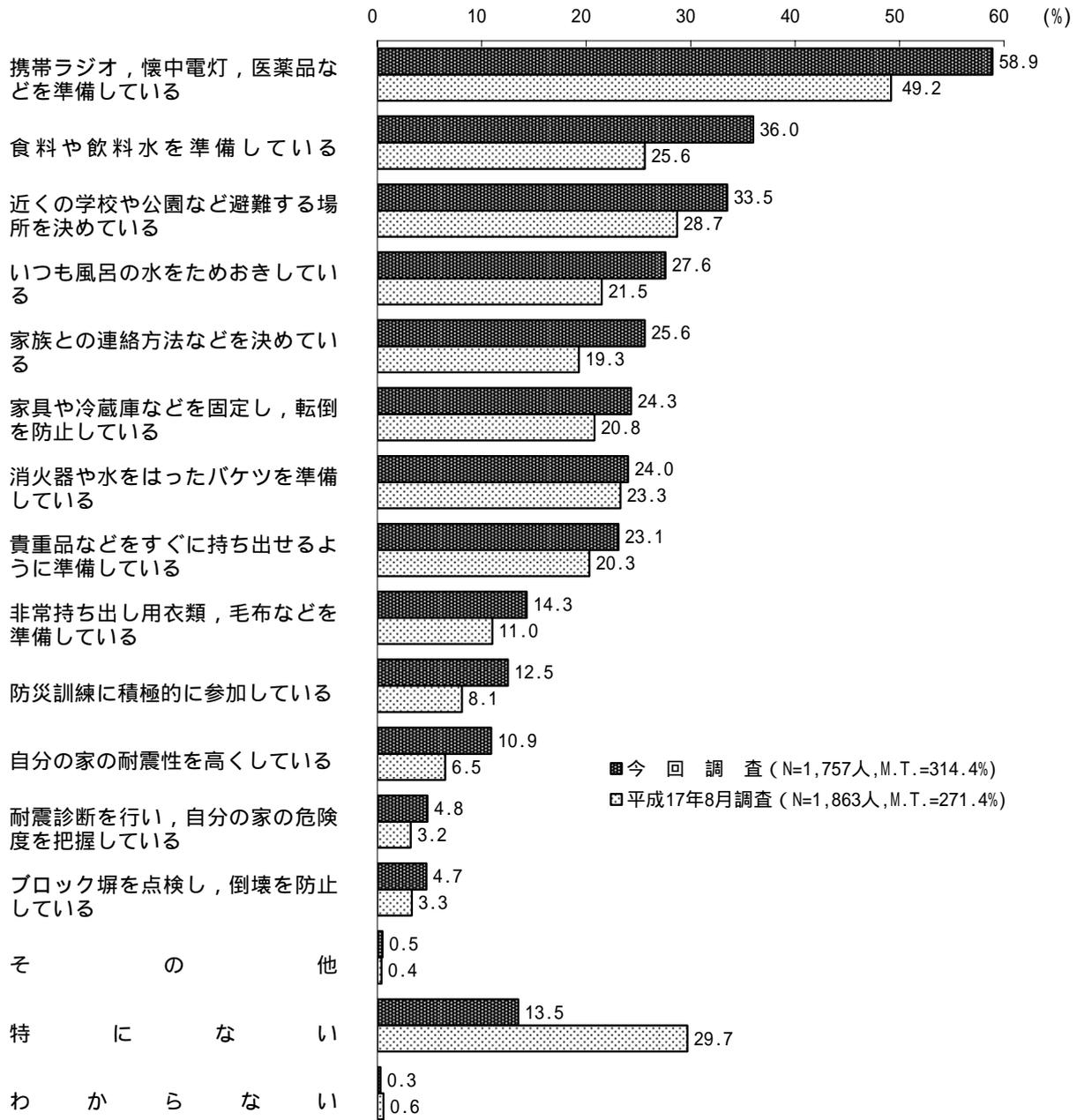


表1 大地震に備えてとっている対策（過去の調査）

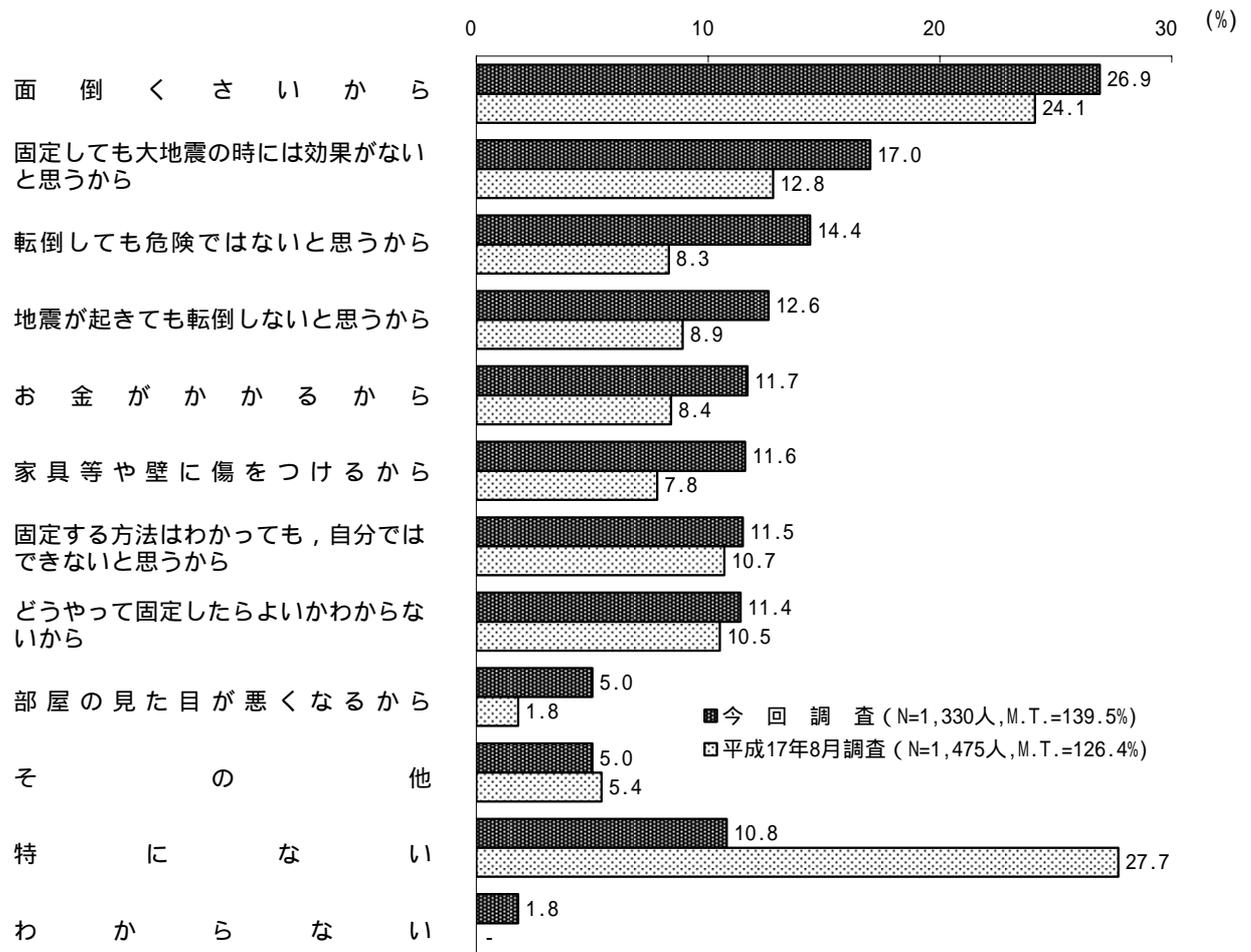
	該 当 者 数	(複数回答)														計 (M.T.) %		
		薬携 帯品 など を準 備し てい る	す近 くの 学校 や公 園な ど避 難	食料 や飲 料水 を準 備し てい る	消火 器や 水を はっ たバ ケツ を準 備し てい る(注 2)	しい つも 風呂 の水 をた めお き	家、 具や 冷蔵 庫な どを 固定 し、 転倒 を防 止し てい る	貴重 品な どを すぐ 持ち 出せ るよ うに 準 備し てい る	家 族と の連 絡方 法な どを 決 めて い る	非 常 な ど を準 備し てい る類 、毛 布	防 災訓 練に 積 極的 に参 加し てい る	自 分の 家の 耐震 性を 高く し てい る	ブ ロッ ク塙 を点 検し 、倒 壊 を 防 止し てい る	耐 震 の 危 険性 を把 握し てい る家	そ の 他		特 に何 もし てな い	わ か ら な い
平成17年8月調査	1,863	49.2	28.7	25.6	23.3	21.5	20.8	20.3	19.3	11.0	8.1	6.5	3.3	3.2	0.4	29.7	0.6	271.4
平成14年9月調査	2,155	46.6	16.7	18.6	22.3	19.9	14.8	21.2	12.8	9.5	5.0	6.5	3.2		0.3	31.0	0.1	228.3
平成11年6月調査	2,122	50.2	21.4	19.1	21.4	21.3	13.9	20.7	14.8	11.0	5.8	5.5	2.3		0.3	34.0	0.5	242.4
平成9年9月調査	2,218	57.9	21.4	21.8	26.6	27.9	14.0	26.5	16.5	12.9	6.8	5.6	3.9		1.3	23.3	1.9	268.3
平成7年9月調査	6,815	59.1	20.7	23.5	27.2	28.7	12.9	28.1	16.3	14.8	5.2	5.1	3.2		1.1	25.8	0.5	272.3
平成3年7月調査	2,268	40.7	15.5	10.8	26.1	22.2	8.5	23.5	9.7		6.0	5.0	3.7		0.3	39.0	0.8	211.8
平成元年7月調査	2,322	45.9	22.7	11.2	33.7	24.9	8.2	24.1			6.7	5.2	4.6		0.3	30.4	0.5	218.3
昭和62年8月調査	2,370	39.2	15.3	11.4	21.6	19.3	5.8	23.4			5.1	3.0	2.0		0.2	40.5	0.5	187.3
昭和59年9月調査(注1)	2,442		18.0		31.6	24.3	6.8				4.0		2.7		2.0	41.6	0.9	154.9

(注1) 昭和59年9月調査では、このほかに「非常持出品を準備している」が23.0%ある。
 (注2) 平成11年9月調査までは、「消火器や三角バケツを準備している」となっている。

4 家具や冷蔵庫などを固定しない理由（複数回答）

	平成 17 年 8 月	平成 19 年 10 月
・面倒くさいから	24.1%	26.9%
・固定しても大地震の時には効果がないと思うから	12.8%	17.0%
・転倒しても危険ではないと思うから	8.3%	14.4%
・地震が起きても転倒しないと思うから	8.9%	12.6%

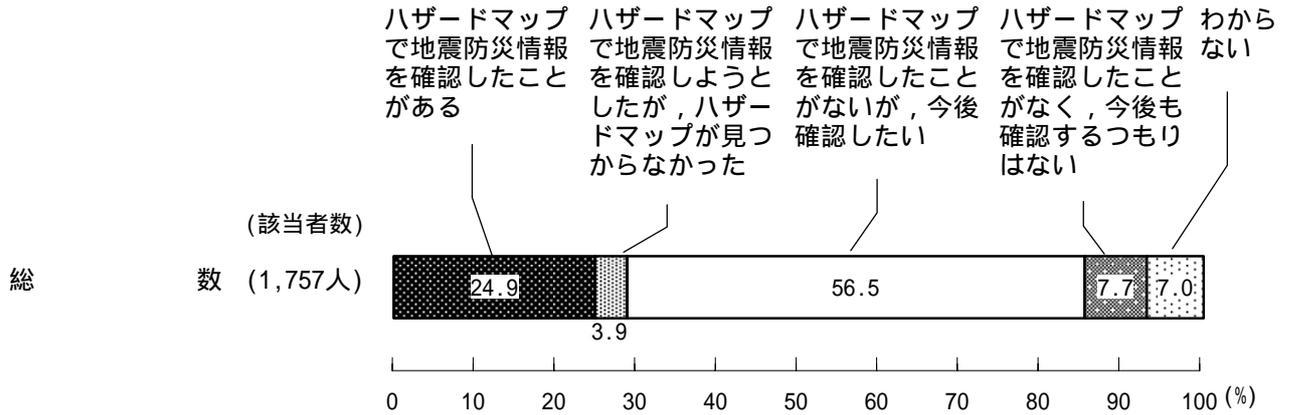
（「家具や冷蔵庫などを固定し，転倒を防止している」をあげなかった者に，複数回答）



5 ハザードマップの活用状況・意向

平成 19 年 10 月

- ・ハザードマップで地震防災情報を確認したことがある 24.9%
- ・ハザードマップで地震防災情報を確認しようとしたが、
ハザードマップが見つからなかった 3.9%
- ・ハザードマップで地震防災情報を確認したことがないが、今後確認したい 56.5%
- ・ハザードマップで地震防災情報を確認したことがなく、今後も確認するつもりはない 7.7%
- ・わからない 7.0%

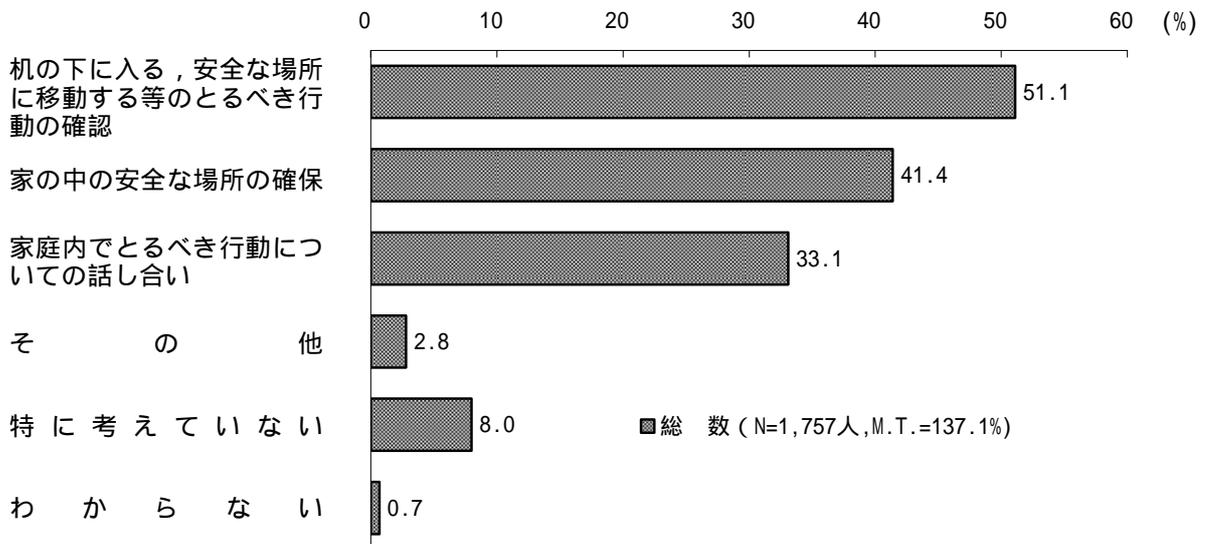


6 緊急地震速報を想定して準備をしようと考えていること（複数回答）

平成 19 年 10 月

- ・机の下に入る，安全な場所に移動する等のとるべき行動の確認 51.1%
- ・家の中の安全な場所の確保 41.4%
- ・家庭内でとるべき行動についての話し合い 33.1%

(複数回答)

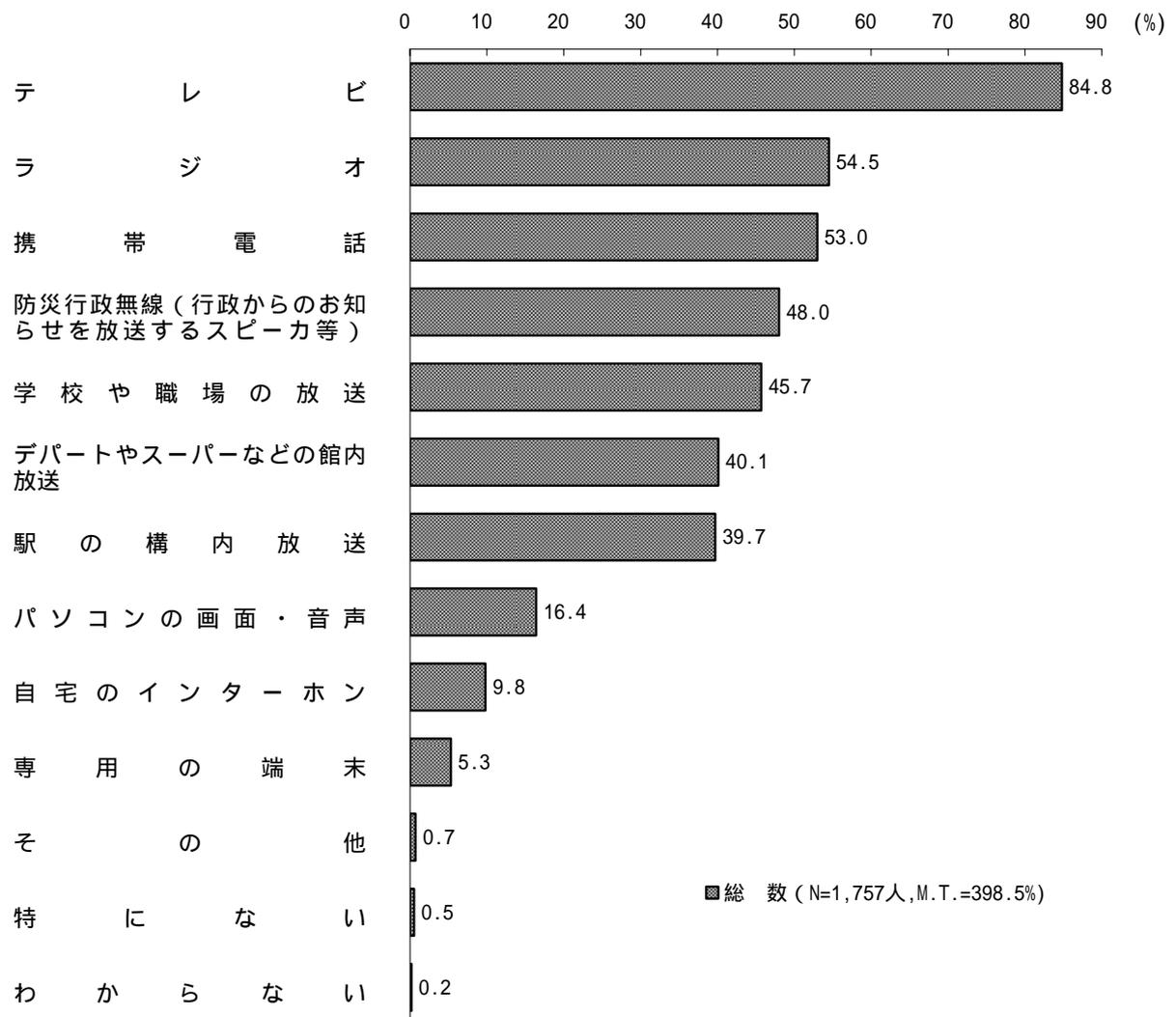


7 緊急地震速報を受け取ることができればよいと思う手段（複数回答）

平成 19 年 10 月

・テレビ	84.8%
・ラジオ	54.5%
・携帯電話	53.0%
・防災行政無線（行政からのお知らせを放送するスピーカ等）	48.0%

（複数回答）



地震防災対策に関する特別世論調査

調査時期：平成 19 年 10 月 4 日から平成 19 年 10 月 14 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：1,757 人 (58.6%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「地震防災対策」についてお聞きします。

Q 1 〔回答票 16〕危険な住宅については、耐震補強工事を行って安全にすることが考えられます。あなたは、あなたのお住まいについて耐震補強工事を実施するつもりがありますか。この中から 1 つだけお答えください。

- (1.8) (ア) 1 年以内に実施する予定がある
 - (3.1) (イ) 1 年以内ではないが、実施する予定がある
 - (26.7) (ウ) 予定はないが、いずれ実施したい
 - (47.2) (エ) 実施するつもりはない
 - (16.8) (オ) 耐震補強工事実施済みなど、既に耐震性がある
 - (4.3) わからない
- (Q 2 へ)
- (Q 2 へ)

S Q 〔回答票 17〕耐震補強工事を実施する予定がない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M・A・)

(N=1,299)

- (9.2) (ア) どうやって着手・施工したらよいかわからないから
- (1.9) (イ) 見た目が悪くなるから
- (4.2) (ウ) 面倒くさいから
- (41.9) (エ) お金がかかるから
- (27.9) (オ) 必要性を実感できないから
- (13.4) (カ) 効果があるか不明だから
- (23.3) (キ) 集合住宅や借家などに住んでおり、自分だけでは判断できないから
- (5.0) その他()
- (2.0) 特にない
- (0.8) わからない

(M.T.=129.7)

Q 2 〔回答票 18〕あなたの家では、大地震が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。この中からいくつでもあげてください。(M・A・)

- (24.0) (ア) 消火器や水をはったバケツを準備している
- (27.6) (イ) いつも風呂の水をためおきしている
- (24.3) (ウ) 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している → (次ページの Q 3 へ)
- (4.7) (エ) ブロック塀を点検し、倒壊を防止している
- (10.9) (オ) 自分の家の耐震性を高くしている
- (4.8) (カ) 耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している
- (36.0) (キ) 食料や飲料水を準備している
- (58.9) (ク) 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- (14.3) (ケ) 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
- (23.1) (コ) 貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している
- (25.6) (サ) 家族との連絡方法などを決めている
- (33.5) (シ) 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
- (12.5) (ス) 防災訓練に積極的に参加している
- (0.5) その他()
- (13.5) 特にない
- (0.3) わからない

(M.T.=314.4)

(次ページの S Q へ)

S Q 〔回答票 19〕あなたが家具や冷蔵庫などを固定していない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=1,330)

- (11.4) (ア) どうやって固定したらよいかわからないから
- (11.5) (イ) 固定する方法はわかって、自分ではできないと思うから
- (5.0) (ウ) 部屋の見た目が悪くなるから
- (11.6) (エ) 家具等や壁に傷をつけるから
- (26.9) (オ) 面倒くさいから
- (11.7) (カ) お金がかかるから
- (12.6) (キ) 地震が起きても転倒しないと思うから
- (14.4) (ク) 転倒しても危険ではないと思うから
- (17.0) (ケ) 固定しても大地震の時には効果がないと思うから
- (5.0) その他 ()
- (10.8) 特になし
- (1.8) わからない

(M.T.=139.5)

(「資料1」を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

<資料1>

自治体では、災害により各地域で予測される震度や津波の高さ、被害の程度、被災時の避難場所や避難経路などの情報(以下、「地震防災情報」とします。)をわかりやすいように地図上に示した資料(以下、「ハザードマップ」とします。)を作成しているところがあります。このようなハザードマップは、広く地域の住民に知らせることで、住民自らの事前の備えを促し、被害軽減を図ることを期待するものです。

Q 3 〔回答票 20〕あなたのハザードマップの活用状況について、あてはまるものをこの中から1つだけお答えください。

- (24.9) (ア) ハザードマップで地震防災情報を確認したことがある
- (3.9) (イ) ハザードマップで地震防災情報を確認しようとしたが、ハザードマップが見つからなかった
- (56.5) (ウ) ハザードマップで地震防災情報を確認したことがないが、今後確認したい
- (7.7) (エ) ハザードマップで地震防災情報を確認したことがなく、今後も確認するつもりはない
- (7.0) わからない

(「資料2」を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

<資料2>

今月(10月)1日から、緊急地震速報の一般提供(テレビやラジオを通じての発表など)が始まりました。

緊急地震速報は、地震による強い揺れを数秒から数十秒前にお知らせするものです。この情報を利用して、列車やエレベーターをすばやく制御して危険を回避したり、工場・職場・家庭などで避難行動をとることによって被害を軽減させたりすることが期待されます。

ただし、緊急地震速報は、地震予知ではなく地震が起きた後の情報であるので、強い揺れの到達に間に合わないことがあります。

Q4 [回答票 21] あなたは、緊急地震速報を受け取った場合を想定して、どのような準備をしようと考えていますか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

(41.4) (ア) 家の中の安全な場所の確保

(51.1) (イ) 机の下に入る、安全な場所に移動する等のとるべき行動の確認

(33.1) (ウ) 家庭内でとるべき行動についての話し合い

(2.8) その他()

(8.0) 特に考えていない

(0.7) わからない

(M.T.=137.1)

Q5 [回答票 22] あなたは、緊急地震速報をどのような手段で受け取ることができればよいと思いますか。この中からいくつでもお答えください。(M.A.)

(84.8) (ア) テレビ

(54.5) (イ) ラジオ

(53.0) (ウ) 携帯電話

(16.4) (エ) パソコンの画面・音声

(5.3) (オ) 専用の端末

(9.8) (カ) 自宅のインターホン

(48.0) (キ) 防災行政無線(行政からのお知らせを放送するスピーカ等)

(40.1) (ク) デパートやスーパーなどの館内放送

(39.7) (ケ) 駅の構内放送

(45.7) (コ) 学校や職場の放送

(0.7) その他()

(0.5) 特にない

(0.2) わからない

(M.T.=398.5)